

～大谷小学校6年生が地元野菜を使って商品開発～
「すきを大好きに ともに未来を築こう！」
彩る『えびなシティ』プロジェクト

海老名市立大谷小学校の6年生が「住みたいまち、住み続けたいまち」をテーマに取り組んだ「総合的な学習の時間」で、海老名マルイ協力のもと、地元野菜を使ったレトルトカレーの商品開発を行いました。2月11日（水）から開催される「いちごフェスティバル×バレンタイン」で児童たちが販売します。

1 商品名

「小さい子供でも食べられる甘口いちごカレー」

海老名産のさつまいも・じゃがいも・人参を使用しています。
小さい子供でも食べられるように、いちごジャムを使って甘味を出しました。



2 販売概要

- (1) 日 時：令和8年2月11日（水）～2月15日（日） 10：00～18：00
※児童による現地販売は、10：00～17：00（予定）
(2) 場 所：海老名マルイ（海老名市中央1－6－1）
(3) 販売数：2,000個
(4) 販売額：1個 880円

3 これまでの取り組み

- ・令和6年度（5年生のとき）

「地産地消」をテーマに地元の野菜農家を応援するプロジェクトに取り組みました。その中で、地域のイベントで野菜を売ったり、販売所の看板を作ったり、授業参観で野菜の試食会に取り組んだりしました。

- ・令和7年度

「昨年度の経験も生かし、海老名の野菜農家を応援しながら、海老名のよさを伝えるには何ができるか」児童たちによる話し合いを行いました。海老名マルイから協力の話をいただいたことで、レトルトカレーの商品開発を行うこととなりました。具材や味付けなどの商品の中身だけではなく、パッケージデザイン、チラシ・ポスター作りなどの販売促進に関わる部分も児童たちが行っています。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部教育支援課 電話046-235-4919